

はじめに

現在、教育活動に多少の制限がありますが、すべての教育活動が安心して実施できるようになることを期待して計画を立てることにします。また、働き方改革の視点をもって業務改善を図り、健全な教育環境のもとで子ども達を指導できるように工夫する1年間とします。

《本校の教育理念》

人間尊重の精神に徹すると共に、郷土の歴史と文化を尊重し、社会の変化に主体的に対応し、進んで学ぶ（好学進取）ことができる心身共に健康で、心豊かでたくましい児童の育成を目指す。

1 学校教育目標

「自ら学び、心豊かでたくましい南っ子」の育成

(1) めざす児童像 ～かしこく、やさしく、たくましく～

- み----- **みんなと**な **なか**よく 助け合う子（優 気）
 - 明るいあいさつと元気な返事をする子
 - だれにでもやさしく親切にする子
- な-----
- み----- **み**ずからがんばる **たく**ましい子（元 気）
 - きまりを守り安全に生活する子
 - 元気に運動し よく働く子
- し----- **し**っかり考え **勉強**する子（根 気）
 - すすんで勉強し 最後までやりぬく子
 - 話をしっかりと聞く子
- づ-----

(2) めざす教職員像 ～チーム南小～

- ①子どもを愛し、一人一人を大切にする教職員
- ②使命と責任を自覚し、熱意と向上心を持って、研鑽に努める教職員
- ③子ども、保護者、地域住民、同僚から信頼される教職員

(3) めざす学校像 ～自分が好き、友達が好き、南志津小が好き～

- ①いじめのない、笑顔あふれるあいさつと歌声がひびく明るい学校
- ②子どもにとって安全安心できれいな学校
- ③子どもや保護者、地域から信頼される学校

2 学校経営の基本方針

- (1) 「不易と流行」を踏まえた特色ある教育課程編成（2期制やモジュール学習等の良さを十分活かす）と実施のための評価・改善に努める。
- (2) 個を伸ばす学級経営や授業実践を通して、児童の自主性・自律性を育てる教育の推進に努める。
- (3) 組織的な学校運営と教職員個々の熱意・創意・誠意ある教科指導・学級経営に努める。
- (4) 教育環境の整備・充実を図り、安全安心できれいな学校づくりに努める。
- (5) 学校運営委員会の機能を活かすとともに、保護者や地域と連携協力して、開かれた学校づくりの推進に努める。

3 学校経営の13の重点

(1) 学校教育目標の具現化を図る教育課程の編成 「調和と特色ある経営」

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、カリキュラム・マネジメントで教育課程の見直しを図る。(年度全体の時数を考え、週の時数を軽減する。また、下校時間を変更する。)
- ・「不易と流行」を踏まえた特色ある教育課程編成のための評価・改善に努める。
- ・2期制のメリットを活かした学校行事の適切化と授業時数の確保に努める。

(2) 学習指導の充実 「確かな学力の向上」

- ・生徒指導の機能を活かした授業づくりを推進し、達成感や成就感の持てる授業を展開する。
- ・基礎基本の定着を図るため、読書活動やドリル学習の充実に努める。
- ・対話的・主体的・深い学びを視点とした授業改善を図る。
- ・発達段階に応じた学年相応の「家庭学習」の励行に努め、適切に評価を行い、習慣化を図る。
- ・体験的な学習や問題解決的な学習の重視に努める。
- ・ICT機器(タブレット端末)を活用し、効果的な学習方法を確立する。

(3) 道徳教育の充実 「優しい心と思いやりの言動」

- ・「豊かな心」を育成するための道徳教育指導体制の充実に努める。
- ・すべての教育活動を通して、一人一人の道徳的実践力が身に付くように努める。
- ・情報教育の充実と情報社会でのルールやマナーを守る態度の育成に努める。
- ・児童自らが成長を実感できる授業づくり、評価方法の改善を行う。

(4) 特別活動の充実 「自発的な活動の促進と援助」

- ・話し合い活動や縦割り活動などを通し、豊かな人間関係やコミュニケーション能力の育成に努める。
- ・交流体験や自然体験、ボランティア活動など、多様な体験活動の充実に努める。

(5) 生徒指導の充実 「子ども理解と心の通うふれ合い」

- ・学習規律・生活規律の指導を通し、規範意識の向上を図る。
- ・教育相談体制の充実を図り、好ましい人間関係づくりに努める。
- ・人権意識を高め、他者理解を進めるとともに、いじめのない学校づくりに努める。

(6) 健康・安全教育の充実 「健やかな体と危険回避能力の育成」

- ・運動することの楽しさや喜びを味わい、発達段階に応じた基礎的な体力の向上に努める。
- ・心の健康、生活習慣病の予防、薬物乱用防止などの適切な対応に努める。
- ・日本の伝統に根ざした食育の推進を通して、健康で活力のある生活習慣の形成に努める。
- ・安全教育を推進し、発達段階に応じた危険回避能力と自他の命を大切にする心の育成に努める。

(7) キャリア教育の推進 「夢・希望・未来」

- ・全教育活動を通して、将来の夢や希望を持ち、その実現のために努力できる資質を育てる。
- ・職場見学、ボランティア活動、栽培活動などの体験活動を通して、勤労観・職業観の育成に努める。

(8) 特別支援教育の推進 「個々の教育的ニーズに応じた支援」

- ・個別の支援が必要な児童に対する全教職員による支援の実現を図る。
- ・特別支援学級やことばの通級指導教室との連携を図りながら、総合的な支援体制を確立する。
- ・個別指導計画を作成し、個々の教育的ニーズに応じた指導内容や指導方法及び合理的配慮の工夫・改善に努める。
- ・保護者や教育関係機関などと連携・協力を密にし、支援の一層の充実に努める。

(9) 研修の充実 「磨き合い、確かな指導力」

- ・学力向上に向け、授業改善のための研究と修養に努める。(校内研修)
- ・指導力(教師力)アップのための授業研究を推進する。(授業改善)
- ・指導と評価を一体化し、マネジメントサイクルを活かした形成的評価と指導力向上に努める。

(10) 教育環境の整備と充実 「児童にはたらきかける美しい環境」

- ・教育環境が機能的で美しく、より安全になるよう整備に努める。
- ・子どもが生活の喜びや学習意欲をかき立てる掲示、子どもに働きかける掲示の工夫に努める。

(11) 小中連携教育の充実、学校・家庭・地域との連携の推進 「共育と協働」

- ・上志津中学校区の各学校と連携し、小中連携の推進を図る。
- ・お互いの役割を明確にし、お互いに協力・連携・信頼する輪を広げられるように努める。
- ・郷土理解(佐倉学等)を推進するために、地域教材や地域人材等の活用を促進する。

(12) 学校運営の活性化とサービスの厳正 「個性の生きる職場と使命感・倫理観の醸成」

- ・子どもに必要な資質・能力を育んでいくための「チーム南小」の体制整備に努める。
- ・子どもの自立をめざした学校運営の改善と教職員個々の熱意と創意を活かした学校運営組織の機能化に努める。
- ・教育公務員としての自覚を持ち、サービスの厳正と事務処理の的確化・効率化に努める。

(13) 働き方改革の即時実行

- ・働き方改革の視点による業務改善を考え、目標申告に取り入れ、できることから実行する。

4 本年度の経営の5つの視点

(1) 「不易と流行」を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施のための評価・改善に努める。

○不易と流行を踏まえた特色ある教育課程の編成を推進する

- ・3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語の確実な実施
- ・モジュールを活用した弾力的で実効性のある授業展開の工夫（スタートの4モジュール）

(2) 個を伸ばす学級経営や授業実践を通して、児童の自主性・自律性を育てる教育の推進に努める。

○基礎基本の定着と学習習慣づくりを推進する中で学力の向上を図る

- ・学習規律（授業準備、ノート指導、聞く態度、発表の仕方など）の指導の徹底
- ・「読み・書き・計算」などドリル学習の充実
- ・発達段階に応じた学年相応の「家庭学習」の励行と、きめ細かな評価と指導
- ・体験的な学習、問題解決的な学習の重視
- ・対話的・主体的・深い学びを視点とした授業改善
- ・生徒指導の機能を活かした「わかる授業」の工夫と実践
- ・インクルーシブ教育システムの構築に向け、一人一人のニーズに応じた合理的配慮の工夫
- ・子ども達の主体性を引き出す道徳授業づくりと、評価の改善

(3) 教育環境の整備・充実を図り、安全安心できれいな学校づくりに努める。

○より機能的で安全な環境の整備を図る

- ・教育環境の見直しと整備
- ・元気なあいさつや明るい歌声があふれる活動の工夫
- ・子どもにとって安全安心できれいな環境づくり
- ・生活の喜びや学習意欲をかき立てる掲示の工夫・・・子どもにはたらきかけるもの
- ・危険回避能力の育成を目指した安全指導の工夫

(4) 学校（運営）の活性化と教職員個々の熱意・創意が十分活かされる経営に努める。

○学校運営組織を機能化し、活性化するための改善を図る

- ・積極的な学校経営参画意識の向上と校務分掌の適切な実施
- ・「研究」における機動力ある組織と、授業改善・授業力の向上
- ・学力向上に向けた、学力向上推進委員会の活性化と確かな検証
- ・学年経営・教科経営の充実
- ・会議時間の効率化
- ・「子どもの自立」に沿った建設的な改善策の採用
- ・働き方改革の視点による業務改善の奨励（各部・各委員会での十分な協議）

(5) 学校運営委員会を活かし、保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりの推進に努める。

○連絡、連携を密にした信頼される学校づくりを図る

- ・積極的な情報発信と情報収集（各種たよりの発行、ホームページの活用、メール配信）
- ・保護者・地域・学校のお互いの役割の明確化
- ・学校運営委員会の運用
- ・「共育」「協働」のための協力体制の確立
（各種ボランティア及びゲストティーチャー等との連携協力）

5. 学校教育目標の5つの具現化

1. 教育課程の編成

- (1) 二期制やモジュール学習のよさを活かした令和4年度教育課程の完全実施
 - ① 現行の学習指導要領に沿った授業時数の確保と指導内容の完全実施。
 - ② 1時間（45分）を3モジュール（15分×3）と捉え、スタートの4モジュールの有効活用
 - ③ カリキュラム・マネジメントで教育課程の見直しを図る。年間としてのメリハリ。
 - ④ 外国語と外国語活動の職員研修の実施
- (2) 日課時程表の工夫
 - ① 3年生以上の学年における授業時数確保に向けた時間割の実施
 - ② 1モジュールの~~ドリルタイム~~の充実を図る。（〇〇タイム）※ドリルだけではない。
 - ③ 読書タイム・清掃・昼休み等の位置付けと時間
- (3) 行事の改善
 - ① 宿泊的行事の見直し（内容と実施時期の検討）
 - ② 学年行事の見直し（内容と実施時期の検討）

2. みんなとなかよく 助け合う子（優 気）

- (1) 豊かな人間関係を育む活動の促進
 - ① 心をつなぐ「あいさつ運動」の推進（あいさつ週間やあいさつの日の設定）をする。
 - ② 登校班や縦割り活動などの異学年交流や、地域の方々との交流活動の充実を図る。
 - ③ 道徳指導全体計画に基づいた道徳の時間の充実（保護者への授業公開を含む）に努める。
 - ④ すべての教育活動を通じた人権教育の充実（オンリーワン集会の設定）に努める。
- (2) 協力・協調の心を育てる活動の充実
 - ① 様々な活動を通し、進んで協力する態度を育てる。
（登校班・清掃活動・係活動・当番活動・給食・児童会活動・委員会活動・学校行事など）
 - ② 特別活動における話し合い活動の充実を図る。
 - ③ 共遊の時間の有効活用を図る。（毎月1回縦割り活動の南っ子タイムを設定）
- (3) いじめの防止・早期発見・早期対応
 - ① いじめ対策会議を実施する。（定例年4回）
 - ② 生徒指導会議で、情報交換し、情報を全職員で共有する。（毎週月曜日）
学校支援アドバイザーの活用を図る。
 - ③ 生徒指導部会で、情報交換や諸問題の対応策等について話し合う。（第1週金曜日）
 - ④ 教育相談月間を設定し、子どもの理解に努める。（前後期各1回）
 - ⑤ 心の相談員やS S W及びS C、保護者、地域の方々との連携・協力を促進する。
 - ⑥ 毎月1回児童アンケートを実施する。（5年保存）

3. みずからがんばる たくましい子（元 気）

- (1) 基本的生活習慣の向上
 - ① 学校のきまりや学習のきまりの指導の徹底を図る。
 - ② 生活目標の具現化に努める。
- (2) 安全指導の充実
 - ① 交通安全指導の充実を図る。
（日常の指導、職員による登校指導、集団登下校指導、交通安全教室など）
 - ② 放課後における交通安全の改善と向上に努める。（スクールガードボランティアや保護者との連絡会の開催）
 - ③ 有事の際の判断力と対処行動力を育成する。（各種避難訓練の実施、引き渡し訓練、炊き出し（6年参加）など）
- (3) 体力を高めるための指導の充実
 - ① 運動量の確保と楽しさを味わう体育授業の工夫に努める。
 - ② 業間活動の有効活用を図る。（縄跳び練習等）
 - ③ 課外活動の積極的な参加を図る。（陸上）
- (4) 健康を保持増進するための指導の充実
 - ① 食育と給食に関する指導の充実。（食物アレルギー対応を含む。）
 - ② 保健指導の充実。（各月の保健指導目標の意識化を図る指導を進める。）

- ③学校保健委員会の開催（学校医・PTAとの連携を深める。）
- ④配慮を要する児童への指導・支援について、保護者や関係機関と連携をとりながら、教職員の共通理解のもと取り組む。
- (5) 勤労体験活動の推進
 - ①清掃指導の充実を図り、きれいな環境づくりに努める。（黙働の推進）
 - ②宿泊体験学習や奉仕活動、栽培活動などの体験活動の充実を図る。
 - ③キャリア教育の実施などにより勤労観を育てる。

4. しっかり考え 勉強する子（根 気）

- (1) 確かな基礎学力の向上
 - ①学習規律の徹底を図る。（話の聞き方や発表の仕方の指導の充実）
 - ②朝の10分間読書の励行を図り、読書好きな子どもたちを育てる。
 - ③ティームティーチング等、個に応じたきめ細かな指導に努める。
 - ④1モジュール（15分）を活かした学習に取り組む。
 - ⑤市の学習状況調査や学力考査の結果の分析とフォローアップのための指導を充実する。
 - ⑥家庭学習の習慣化を図る。（家庭学習のてびきの活用。学年×10分を目安に取り組む。）
 - ⑦夏休みに2日間好学チャレンジ教室（補習学習）を4年生以上で実施。
- (2) 研究・研修の充実及び教職員の資質の向上
 - ①対話的・主体的・深い学びの視点での授業改善（授業力アップ）に取り組む。
 - ②学力向上推進委員会を月1回に開催し、学力向上の改善にPDCAで取り組む。
 - ③子どもに働きかける言語環境の充実（掲示の工夫、図書館司書や図書ボランティアとの連携等）を図る。
- (3) 個のニーズに応じた指導法の改善（特別支援教育も含む）を推進
 - ①しいの木学級やことばの通級指導教室との連携を図りながら、総合的な支援体制を確立する。インクルーシブ教育の趣旨を活かし、ことばの教室と連携した教育環境・内容の充実を図る。（交流学习や共同学習を継続的に行う。）
 - ②個別の指導計画を作成し、個々の教育的ニーズに応じた指導内容や方法及び合理的配慮の工夫改善を図る。

5. その他

- (1) 学校運営委員会、保護者、地域との連携を密にした教育活動に取り組む。
 - ①地域の教育力を生かした教育活動を実践する。
 - ②上志津中学区の小中連携推進教育の充実及び志津わかば幼稚園等との幼小連携教育を推進する。
- (2) 開かれた学校を意識し、積極的に情報を発信するとともに、学校評価をもとに学校運営の改善を図る。
 - ①学校からの情報の発信（学校だより、学年・学級だより、保健室だより、給食だより、南志津小のホームページ、メールの配信等）を積極的に行う。
 - ②定期の学校評価、関係者評価（前期・後期）や行事ごとの意見・感想などを有効活用し、学校経営の改善と業務改善に努める。

※しづが原まちづくり協議会は令和3年4月に解散した。